

令和元年度に見直した檀原市環境総合計画

はじめに

檀原市では良好な環境を保全・創造し、将来世代を含めた市民が安全で快適に暮らすことができるよう、望ましい「将来像」の実現に向けて、市民、事業者、行政などあらゆる立場の人々が連携して具体的な行動を総合的かつ計画的に推進することを目的とするとともに、環境の面から実現するための推進方策を示す、「檀原市環境総合計画」（以下計画）を平成25年3月に策定しております。今回、令和4年度に計画期間を終了する本計画から次期計画に継承されるべき施策を従来よりも評価内容を増やした重点項目として設定し、従来の指標の中から環境の状態を現しかつ、重点項目の管理指標となる項目を代表指標とする見直しを行いました。

1. 背景

本計画策定後、特に地球温暖化が世界にとって深刻な環境問題となっており、巨大台風や猛暑などの異常気象が世界各地で起きています。

そういった中、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は国際社会全体が、これらの人間活動に伴い引き起こされる諸問題を喫緊の課題として認識し、協働して解決に取り組んでいくことにより、持続可能な開発目標（SDGs）が示されました。また、2015年12月には気候変動に関する国際的枠組となる「パリ協定」が採択され、2020年から運用がスタートします。

国では2016年5月に政府の「地球温暖化対策計画」が閣議決定し、中長期の目標を定めています。

このことから、本市においても次期計画に継承されると見られる中長期を展望できる施策から、重点項目を設定し、見直しを行うことといたしました。

2. 重点項目の抽出

《第4章 基本目標を実現させるための取組：計画 P. 56》

(重点項目1) 基本目標3 健康で快適に、安全で安心して暮らせるやさしいまち

3-1 環境汚染対策 ②生活排水対策の推進 (計画 P. 66)

67番 (153個の主要施策を細分化した番号、以下同様) : 河川や下水道の整備と併せて合併浄化槽の整備、各種啓発活動を推進し、水質改善を目指します。

指標：大和川の BOD 値の恒久的な環境基準 (5 mg/L 以下) の達成

現況値 (mg/L) (平成 23 年度)	実績値 (mg/L) (平成 30 年度)	目標値 (mg/L) (令和 10 年度)	備考
3	2.2	5	

【SDGs】



(重点項目2) 基本目標4 循環の仕組みを備えた「もったいない」のこころにあふれたまち

4-3 再資源化の促進 ①資源リサイクル化の展開 (計画 P. 70)

105番：現行の資源回収 (品目) とリサイクル関連制度に関する妥当性や有効性等について市民、事業者、行政等関係機関との連携による減量化・再資源化調査等を

行い、資源リサイクル化の検討を図ります。

追加指標：橿原市の一般廃棄物処理に係る資源化率

現況値(%) (平成 29 年度)	目標値(%) (令和 5 年度)	目標値(%) (令和 10 年度)	備考
12.4	14.3	15 以上	橿原市一般廃棄物処 理基本計画

削除した指標：リサイクル館かしはらに係る資源化量

一般廃棄物の減量が進む中において、廃棄物の全体量が減少すれば、資源化量も必然的に減少することから管理指標としてふさわしくないと判断したため。

【SDG s】



(重点項目 3)

4-4 廃棄物の適正処理 ⑤収集体制の充実 (計画 P. 71)

115 番：高齢者の安否確認を含めた「ふれあい収集」の継続実施に加え、「リクエスト収集等の検討を行い、分別ごみの減量化および市民のニーズに対応した収集体制の充実を図ります。

指標：無し

【SDG s】



(重点項目 4)

4-5 エネルギー資源循環 ①余熱利用の推進 (計画 P. 71)

118 番：ごみ焼却時に発生する熱エネルギーの具体的な有効活用方法について検討をおこない、余熱利用の推進を図ります。

指標：市役所業務のうち事業系に係る温室効果ガス排出量

現況値 (t-CO2) (平成 25 年度)	実績値 (t-CO2) (平成 30 年度)	目標値 (t-CO2) (令和 12 年度)	備考
20,285	19,802	15,822 以下	橿原市地球温暖化対策推進実行計画

環境指標に追加：廃棄物発電（売電）による社会に対する温室効果ガス削減効果

現況値 (t-CO2) (平成 25 年度)	実績値 (t-CO2) (平成 30 年度)	目標値 無し	備考
6,173	6,751		一般廃棄物の減量化により発電量も減少するため目標設定せず

【SDG s】



(重点項目 5) 基本目標 5 低炭素社会の実現に向けた行動を実践するまち

5-2 市民生活における低炭素化の推進 ①省エネ・省CO2につながる設備機器の導入促進 (計画 P. 74)

124番：省エネ・省CO2の設備機器の導入を推進するための支援を検討します。

指標：市域の温室効果ガス排出量

現況値(千 t-CO2) (平成 25 年度)	実績値(千 t-CO2) (平成 30 年度)	目標値(千 t-CO2) (令和 12 年度)	備考
703	786 (暫定値)	520 以下	

【SDG s】



(重点項目 6)

5-6 市役所における取組の率先垂範 ①市役所におけるエコ・オフィス活動の徹底 (計画 P.76)

144 番: 「地球温暖化対策実行計画」に基づく、職員一人ひとりが、着実に行動を実践します。

指標: 市役所業務のうち事務系に係る温室効果ガス排出量

現況値 (t-CO2) (平成 25 年度)	実績値 (t-CO2) (平成 30 年度)	目標値 (t-CO2) (令和 12 年度)	備考
8,640	7,913	5,184 以下	橿原市地球温暖化対策推進実行計画

指標: 市役所業務のうち事業系に係る温室効果ガス排出量

現況値 (t-CO2) (平成 25 年度)	実績値 (t-CO2) (平成 30 年度)	目標値 (t-CO2) (令和 12 年度)	備考
20,285	19,802	15,822 以下	橿原市地球温暖化対策推進実行計画

【SDGs】



3. 重点項目抽出理由

平成 25 年 3 月に策定した檜原市環境総合計画を踏襲しながら、本市において環境面の基本的な計画となる平成 30 年 3 月に策定した第 3 次檜原市地球温暖化対策推進実行計画及び平成 31 年 3 月に改訂した檜原市一般廃棄物処理基本計画が更新されたことに伴い、本市が環境面で重要と考える施策について抽出しました。

重点項目には持続可能な開発目標（SDG s）への紐づけを行い、次期計画への足掛かりとし、2020 年から温室効果ガス削減に関する新たな国際的枠組である「パリ協定」の運用がスタートすることも考慮しながら行いました。

4. 資料

- (1) 檜原市環境総合計画（平成 25 年 3 月策定）
- (2) 檜原市地球温暖化対策推進実行計画（平成 30 年 3 月策定）
- (3) 檜原市一般廃棄物処理基本計画（平成 31 年 3 月改訂）
- (4) 持続可能な開発目標（SDG s）
- (5) 温室効果ガス削減の取組（パリ協定）